

操り糸がほどけた トモタロウ

人は生まれながらにして自由はない。

周囲に何かしらのコントロールを受けて生きていく。

それは感謝と換言したり、あるいは逆恨みなどに変わってしまうケースもある。

突然真っ黄色の分厚い入道雲から

19筋

の稲光を受けたトモタロウは、

自らの手足を自らコントロールする術を失ってしまった。

しかし完全な不自由ではない。

逆に厄介でもあったが、入道雲そのものが原因ではないようで、

いろいろなことが重なった結果のように思えた。

周囲は困っている彼をいろいろな視点で舐めまわすように見つめていた。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございます。
した。